

- (1) 図1は、ある季節に見られる特徴的な日本付近の雲のようすである。これについて次の各問い合わせに答えなさい。

① 図は、どの季節の雲のようすか。最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 春 イ 夏 ウ 秋 エ 秋 冬

② 次の文は、図のときにふく特徴的な風について説明したものである。文中の「」にあてはまるものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

図の季節になると、海洋よりも大陸のほうが<sub>a</sub>ア あたたかく イ 冷たくなる。その結果、海洋上よりも大陸上のほうが気圧が<sub>b</sub>ア 高く イ 低くなる。よって、<sub>c</sub>ア 海洋から大陸 イ 大陸から海洋に向かって特徴的な風がふく。

- (2) 図2は、日本付近のつゆ(梅雨)の時期のある日の天気図である。図2

これについて次の各問い合わせに答えなさい。

① 図に見られる前線について説明したものはどれか。最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 低温で乾燥した北側の気団と、高温で湿った南側の気団の間にできた停滞前線である。

イ 低温で乾燥した北側の気団と、高温で湿った南側の気団の間にできたへいそく前線である。

ウ 低温で湿った北側の気団と、高温で湿った南側の気団の間にできた停滞前線である。

エ 低温で湿った北側の気団と、高温で湿った南側の気団の間にできたへいそく前線である。

② 次の文は、つゆが明けるときの前線の移動について説明したものである。文中の「a」にあてはまる語句を答えなさい。また、bの「」にあてはまるものを選び、記号で答えなさい。

つゆが明けるころには、<sub>a</sub> 気団が発達して勢力を強め、前線が<sub>b</sub>ア 北 イ 南に移動する。こうしてつゆが明ける。

- (3) 図3は、ある日の日本付近の天気図である。この時期は、日本の上空にふくある風の影響によって、晴れの日とくもりや雨の日が4~6日くらいの短い周期で変わることが多い。この風を何というか。名称を答えなさい。

図1

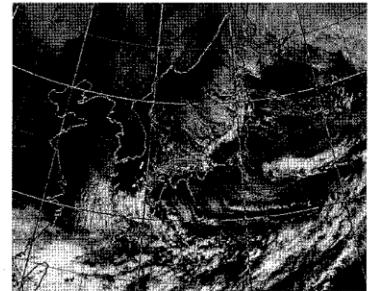


図2

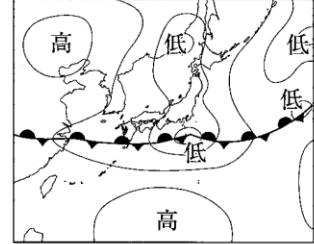
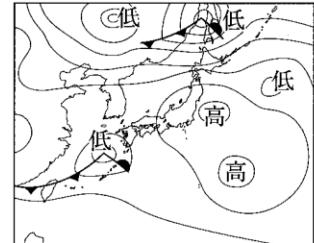


図3



		工	11
(1)	a	イ	b ア c イ 完答
(2)	①	ウ	13
	a	おがさわら 小笠原	(気団)
	b	ア	
(3)		へんせいふう 偏西風	

- (1)(1) 冬にはシベリア気団から北西の季節風がふくことによって、すじ状の雲が見られる。
- (2)(1) 停滞前線(梅雨前線)の北側に低温で湿ったオホーツク海気団、南側に高温で湿った小笠原気団がある。停滞前線付近では雨やくもりの日が多くなる。
- (3) 図3は、春や秋に見られる天気図で、この時期は偏西風によって移動性高気圧と前線をともなった低気圧が日本に交互におとずれる。このため、天気は周期的に変化する。